



外国出張報告書

平成 27年 8月 25日

1. 出張国名 バンングラデシュ
2. 出張月 平成 27年 8月
3. 出張目的 バンングラデシュにおける塩類土壌に対応する育種、栽培、土木等技術体系の開発に関する可能性調査：C

4. 成果の概要

バンングラデシュ訪問前に、愛媛大学と香川大学を訪問し、塩類土壌に対応する育種、栽培技術の開発に関する研究連携の可能性について討議を行った結果、塩害状況のマッピングや塩類集積モデルの開発、耐塩性生理指標の開発による育種選抜の効率化等の課題連携が必要との認識で一致した。バンングラデシュ土壌資源機関では塩類、酸性、低有機物土壌への対応が急務であることが判明した。バンングラデシュ農業研究機関では農業機械の開発による塩害対策や節水技術に関して情報交換を行い、研究連携が両機関の課題の推進に有益であるとの認識で一致した。